

I 報告事項

1 令和元年度の「地域・家庭の方策」

CS	学校運営協議会
広尾小	<ul style="list-style-type: none"> ● ふるさと給食へのゲスト参加 ● 盆踊りへの参加促進の環境づくり ● 広尾町の歴史を伝える現地視察
豊似小	<ul style="list-style-type: none"> ● 子どもたちへの積極的な声掛け ● 放課後の子どもの居場所づくり ● 学校農園を活用した交流活動
広尾中	<ul style="list-style-type: none"> ● 町内会活動への参加を促進 ● 広尾町の歴史の体験学習

項目	広尾っ子応援団本部の支援策	実施状況
① 広尾町の歴史を伝える取組の実現に向けた支援	● 郷土資料の保管、学校等への情報提供	令和2年度6月、広尾中1年生フィールドワークで活用
	● 第2期末塾の執筆者の情報提供・協力依頼（企画課との連携）	令和元年9月、コミュニティセンターで役場職員等6名が協力して授業実施
	● 社会教育事業を活用した体験学習の検討	コロナ対応のため事業縮小
② 各CSで実施する方策に対する支援	● 町内会活動への子ども参加の促進（各町内会）	中学生1名、花壇整備に参加 コロナ対応のため事業中止
	● 盆踊りへの子どもの参加の促進（商工会）	コロナ対応のため盆踊り中止

2 令和2年度各学校運営協議会における協議の経過と本年度の「地域・家庭の方策」

① 協議経過

会議名	開催時期	議事	熟議
令和元年度第3回	令和2年1月	学校関係者評価	目指す子ども像
令和元年度第4回	令和2年3月（中止）	***	***
令和2年度第1回	令和2年6月	学校運営方針の承認	地域・家庭の方策
令和2年度第2回	令和2年7～8月	地域・家庭の方策	子どもたちの実態
令和2年度第3回	令和3年1月（予定）	学校関係者評価	目指す子ども像
令和2年度第4回	令和3年3月（予定）	学校運営方針の承認	地域の教育環境

【参考】重点教育目標

広尾小 めあてをもって進んで学び、やりぬく子どもを育てる

豊似小 主体的な学びで、豊かな知識と人間性を磨き、自ら行動できる児童

広尾中 主体性と助け合う心を育てる【互助の精神】

② 地域・家庭の方策

CS	取組	決定
広尾小	家庭の交流（話し合い）の充実について啓発	○
	地域の人材を活用した広尾町の歴史等の学習	
	「コロナ」の経験にかかわるタイムカプセルの作成	
豊似小	親の仕事をビデオで撮影して学校に提供	○
	収穫期の様子をドローンで撮影し学校に提供	
広尾中	スマホやコンピューターの有効な活用に関して地域・家庭へ啓発	○

3 各学校からの支援要望に対する対応状況(9月20日以降)

	学年等	時期	対応状況
広尾小	2年算数	12月	掛け算の学習で、子どもたちの九九の暗唱を聞いていただきたい。⇒ 応援団員2名とコーディネーターが協力
	2年生活	9月	町探検で商店等の見学のお手伝いをしていただきたい。⇒ 6店舗及びコーディネーターが協力
	3年音楽 4年音楽	11月~12月	和太鼓のたたき方を教えていただきたい。 ⇒ 陣屋太鼓保存会が協力
	5年家庭 6年家庭	9月~12月	調理実習やミシンの使い方の学習をお手伝いいただきたい。
	行事	10月20日	学習発表会に来ていただき、子どもたちの発表の様子を観ていただきたい。 ⇒ 広尾っ子応援団だよりで紹介
	行事	12月4日	授業参観日に来ていただき、子どもたちの学習の様子を観ていただきたい。 ⇒ 広尾っ子応援団だよりで紹介
	3年社会	1月	「古い道具と昔の暮らし」の授業で、ランプ、かまど、洗濯板、火のし、炭火アイロンなどの使い方や、その頃の生活を聞かせてください。(昭和初期)
	5年体育	1月~2月	スケートを履くときの手伝いや、励ましの声かけなどをお願いします。
	5年図工	1月~2月	インクを塗ったり、刷り取り紙を合せたり、バレンで刷ったり、子どもたちの版画刷りのお手伝いをお願いします。

	3年～6年理科	5月中旬～6月中旬	オオバナノエンレイソウ群生地ガイドをしてほしい。できれば学年ごとに4回に分けて学習させたい。⇒
	6年総合的な学習の時間	5月下旬～	修学旅行の自主研修のコース選択の最初の場面で、札幌のおすすめスポットなどの資料をいただきたい。⇒
	5年家庭	6月～7月	裁縫の授業で、お手伝いしていただける方がいればお願いします。(玉結び、玉留め、波縫いなど)
	5・6年家庭	未定	調理実習で、細かい切り方・洗い方などの指導を一緒にお願いしたいです。
豊似小	体育	2月	スキー学習の指導者として協力していただきたい。⇒ 地域住民・保護者・役場職員5名が協力
	放課後	次年度	子どもの居場所をつくっていただきたい。 ⇒ 4月から実施
広尾中	1年総合	2学期	漁業、酪農、林業、歴史などを体験して町のことを知る。⇒ 地域住民・役場職員7名が協力(この教育活動には、菊地ファーム、広尾漁業協同組合、保志漁業部、宿院水産、広尾町森林組合も協力)
	3年家庭	2学期	保育実習を受け入れてくれる施設を紹介していただきたい。⇒ 認定こども園が協力
	文化祭	9月下旬	焼き鳥など、バザーで出店を出していただきたい。 合唱コンクールの審査を音楽の知識のある方をお願いしたい。⇒ 地域住民1名が協力
	全学年総合	12月	まとめの発表を参観してもらい、意見や感想をいただきたい。⇒ 歴史授業の協力者及び応援団員1名が協力
	1,3年数学	3学期	統計の学習で広尾町のデータを提供していただきたい。 ⇒ 町づくりアンケートを提供、授業中止

4 広尾っ子応援団登録・応援メッセージ

① 啓発活動(令和元年9月20日以降)

No.	日時	記録
1	令和元年9月以降随時	応援メッセージ紹介(広尾っ子応援団だより)
2	令和元年9月以降随時	広尾っ子応援団の活動を紹介(広報、隊員日記)
3	令和元年10月以降	応援メッセージ掲示(放課後読書ふれあい広場)
4	令和元年10月26日	広尾っ子応援団の取組発表(十勝教育を考える会)

5	令和元年10月31日	CS、学校運営協議会の取組説明（教育講演会）
6	令和元年11月25日	CS、広尾っ子応援団の取組説明（広尾町全教職員）
7	令和元年11月27日	CS、広尾っ子応援団の取組説明（白友会）
8	令和元年12月27日	広尾っ子応援団、応援メッセージ説明（教育講演会）
9	令和2年1月3日	応援団登録チラシ配布（はたちの集い）
10	令和2年1月24日	広尾っ子応援団、応援メッセージ説明（教育講演会）
11	令和2年1月29日	広尾っ子応援団、CSの説明（帯広市PTA連合会）
12	令和2年2月13日	応援メッセージ集発行
13	令和2年5月11日	CS、広尾っ子応援団の取組説明（転入教職員）
14	令和2年5月29日	応援メッセージ用はがき全家庭配布
15	令和2年6月1日	広尾っ子応援団だより掲示（庁舎内4箇所）
16	令和2年6月23日	家庭教育サポート企業協定締結（広尾町商工会）
17	令和2年7月6日	会員への家庭教育サポート企業等募集（広尾町商工会）
18	令和2年8月18日	広尾っ子応援団、応援メッセージ募集（ウェブページ）

② 登録者数 73名（9月4日現在）

5 情報発信

① 広尾っ子応援団だより

No.	発行時期	主な掲載内容
13	令和元年10月	地域の支援を得た教育活動
14	令和元年11月	放課後読書等ふれあい広場、教育講演会、教員アンケート
15	令和元年12月	地域の支援を得た教育活動、応援メッセージ
16	令和元年12月	地域の支援を得た教育活動、ふれあい広場、応援メッセージ
17	令和2年2月	熟議「育成を目指す資質・能力」、教育講演会、応援メッセージ
18	令和2年3月	地域の支援を得た教育活動、家庭教育サポート企業
19	令和2年3月	広尾町CSの成果のまとめ、各学校の重点教育目標
20	令和2年4月	学校運営の方針（教育課程）、支援要望
21	令和2年4月	学校運営の方針（教育課程）、放課後の居場所、応援メッセージ
22	令和2年5月	コロナの影響、書面熟議「地域・家庭の方策」、応援メッセージ
23	令和2年6月	重点教材の授業風景、広尾小学校運営協議会、応援メッセージ
24	令和2年6月	重点教材の授業風景、広尾中学校運営協議会、応援メッセージ
25	令和2年7月	重点教材の授業風景、豊似小学校運営協議会
26	令和2年8月	重点教材の授業風景、第2回学校運営協議会、商工会協定締結

（送付先）

広尾っ子応援団本部委員、学校運営協議会委員、小中学校保護者、広尾っ子応援団登録者、広尾町役場全職員（メール）、町内会（回覧）、十勝教育局、広尾高等学校長

② 広尾町公式ウェブサイト掲載（令和元年9月以降、新規に掲載したもの）

ア CS導入までの広尾町の取組

- 教職員アンケート結果及び分析
- 広尾町コミュニティ・スクール運営の手引き

イ 学校運営協議会の取組

- 第3回学校運営協議会報告
- 令和2年度第1回、第2回学校運営協議会報告

ウ 広尾っ子応援団本部の取組

- 広尾っ子応援団だよりNo.13～No.26

エ 募集・お知らせ

- 広尾っ子応援団員・応援メッセージ募集
- 啓発資料「改めて、家庭・地域の生活を考える機会に」「ネットを賢く安全に使うために」

③ 教育講演会

(ア)南十勝PTA連合会研修会及び広尾町PTA連合会研修会（令和元年10月）
（石川尚子講演会兼広尾町コミュニティ・スクール報告会）

- パネルディスカッション
パネラー 広尾町各学校運営協議会代表
進行 広尾町CSコーディネーター
- 講演 株式会社ゆめかな代表取締役 石川 尚子
演題「地域みんなで広尾っ子の自己肯定感をはぐくむ」

（参加者106名）

(イ)広尾っ子応援団本部主催教育講演会及びCS報告会（令和元年12月）

- 報告 広尾っ子応援団本部の取組（学校支援、応援団登録、メッセージ等）
- 講演 NPO法人地域生活支援ネットワークサロン代表理事 日置 昌世
フィードバック研究会メンバー7名
公開ディスカッション「地域とのかかわりと子どもの自己肯定感」

（参加者49名）

(ウ)広尾っ子応援団本部主催教育講演会及びCS報告会（令和2年1月）

- 報告 広尾っ子応援団本部の取組（ふれあい広場等、応援団登録、メッセージ、）
- 講演 株式会社ゆめかな代表取締役 石川 尚子
演題「広尾っ子の自己肯定感をはぐくむために」

（参加者68名）

④ 放課後読書等ふれあい広場

(ア)令和元年10月1日(火)～令和2年3月19日(木)

実施日数 31日 参加児童延べ65名 地域住民述べ7名

(イ)令和元年6月2日(火)～令和2年9月10日(木)

実施日数 26日 参加児童延べ142名 地域住民述べ10名

※ 利用者は原則児童に限定

6 教員アンケート

(目的)

コミュニティ・スクール制度導入による学校と地域に対する教員の意識変化を把握し、今後の推進方針の確立や方策の改善に資する。

(内容) 平成30年5月実施のアンケート用紙と同じ

(期日) 令和元年11月

(主な結果)

(プラス)

「学校の授業では、地域の人から取材した内容が活かされている」「教職員が住民と一緒に教育を考える場がつけられている」など、地域とのかかわりを問う質問で積極的な回答が増加

「地域が、学校の運営に関して校長の方針を承認する権限をもつ」「地域が学校での授業や教育課程に意見を述べる」など、地域が学校の運営に携わることについて問う質問で積極的な回答が増加し、消極的な回答が減少

(マイナス)

学校と地域の関係を問う質問「学校をよくすることで地域そのものがよくなる」で消極的な回答が増加